

フォーライフ桃郷便り

発行所

毎日寿心社
世田谷区北鳥山7-8-11
TEL03-3300-1600

11月号

※感染症対策は
十分に配慮しており
ます。

施設での行事およびイベント紹介

【11月イベント予定】

- 16日（土）秋の買い物イベントIN吉祥寺（デイ）
 20日（水）スイートポテト作り（デイ）
 24日（日）みたらしオジャガ餅作り（ショート）
 30日（土）ボランティア発表会（デイ）

【12月イベント予定】

- 6日（金）レトロカフェ（東三条）
 23日（月）クリスマス会（三条）
 25日（水）クリスマス会（デイ&ショート）



～ 施設からのお知らせ ～

～ 介護教室 開催のお知らせ～

地域貢献事業として、施設の介護職員が講師となり、介護教室を開催します。

介護に興味がある方、これから介護を行う予定がある方、介護に不安がある方、どなたでもお申込みが可能です。お困りの方がいらっしゃいましたら、是非お誘いいただけますと幸いです。ホームページにも情報を掲載させていただきますので、合わせてご確認ください。

【開催日時】2024年12月1日（日）13:30受付開始、14:00開始、16:00終了予定。

【参加費】無料

【定員】先着順（約20名予定）



フォーライフ桃郷
ホームページ



不思議な気持ちになったお話



こんにちは、今回は2つ、お知らせしたいことがあります。

一つ目は私事ではございますが、皆様ご存じの甥っ子の1年目の誕生日会がありました。1年程前にわたくしの兄に子供が生まれ、何度か実家に来ていたそうなのですが、なかなか会うタイミングがなく、1年後にようやく会うことができました。友達の子どもは何人か見てきました。可愛いとは感じていましたが、自分の子どもが欲しいと思う感情はあまりありません。しかし、甥っ子は親近感が強く、今まで感じた事のない不思議な何とも言えない感情になり、涙が自然と出てきた時には自分でも驚きました。あの兄に、あのいつまでも子供だった兄に子供が出来たんです。もう一度書きますが、不思議な何とも言えない感情になりました。

もう一つのお知らせは、甥っ子の誕生日会を兼ねて、家族そろって吉祥寺で食事会をしました。実家に帰った際に両親とご飯はありましたが、兄と兄嫁と一緒にご飯を食べる機会がなく、2年ぶりくらいの食事となりました。家族と何を話して良いか分からず、実家にいた頃から家族と話す事が苦手だった自分が、甥っ子の誕生日会で家族そろっての食事をした際には、自然と話をすることができました。甥っ子の力なのか、子供がいるだけでその場が明るくなるのは何故でしょうか？不思議な気持ちになった1日でした。

西三条 木下雄太



キャンプに行ってきました



先日山梨県の本栖湖へキャンプに行ってきました。

コロナ前に新しい TENT を買っていたのですが、緊急事態宣言や外出制限もあって、なかなかキャンプに行けずにいました。昨年は9月にキャンプの計画を立てていたのですが、数日前に家族全員がインフルエンザになって中止。今回が実に6年振りのキャンプになりました。

新しい TENT は購入してから、近所の公園で一回試しに立てていたのですが、久しぶりだとなかなかスムーズにできず…。秋晴れの暖かい日差しとは真逆な、妻の凍えるような冷たい視線を浴び、心が折れそうになりましたが、二人の娘にイケてる父親を見せなきゃいけないという思いで、なんとか無事に TENT を立てることができました。

娘二人は焚火を囲んで外で食べる食事や、TENT で寝るという非日常体験をすごく楽しんでくれました。

TENT を立てた後に飲んだビールと、本栖湖の日の出を眺めながら飲んだコーヒーは最高でした。

居宅サービス部長 水上 健



職員紹介

Vol. 81

施設サービス部

看護担当

松〇 暁〇 さん

Q1 出身は？

鹿児島県の奄美大島です。

Q2 趣味、特技はありますか？

週に1~2回ですが、
ママさんバレーをしています。

Q3 好きな食べ物は？

白いごはんです。

Q4 生活を一言でいうと？

マイペース



Q5 最近あった幸せなことは？

下2人の息子が中学校と高校でバレーボールをしています、都大会に出場しました!!!

Q6 最後に一言!

今まで経験してきたことを生かしながら、利用者様の健康と笑顔の為に、これからも頑張ります。

松坂世代は、最後のひとり、ユニホームを脱ぐ決断を下しました。「松坂世代」で唯一の現役プロ野球選手として走り続けた43歳のベテラン左腕ソフトバンクの和田毅投手が今シーズン限りで現役を引退することを電撃発表しました。

1980年〜81年生まれの松坂世代。実に93人がプロ野球入りを果たすなど、最強世代としてプロ野球界を引っ張っていましたが、和田選手の引退により一つの時代が終焉を迎えたことになりました。松坂世代の選手がいなくなったことに寂しさを感じるのと同時に、時代の流れの速さを感じます。

私、水上も松坂世代で、同じ世代の選手の活躍に勇気や元気をもらっていました。私と同じように違う世界で働く松坂世代は同じような感覚であつたのではないかと思います。

プロ野球とは違う世界で働く松坂世代は今がまさに働き盛りの年齢です。彼らほどの影響力はありませんが、誰かに影響を与えられる、そんな松坂世代でありたいです。

編集長 水上 健

一つの時代の終焉
編集後記